



2026年度
臨床研修医募集



社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会新潟病院

臨床研修病院

地域医療支援病院

災害拠点病院

地域周産期母子医療センター

赤ちゃんにやさしい病院

がん診療連携拠点病院に準じる病院

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地 280-7 済生会新潟病院 教育研修センター ☎ 025-233-6161 (内線 2253)

URL : <https://www.ngt.saiseikai.or.jp/> E-mail : rinken@ngt.saiseikai.or.jp





あたたかく、心ある地域医療を。

信頼される医師となるためには、医学的知識と技術を身につけることが必須ですが、最も重要なことは「病める人への思いやりの心」です。当院では研修医の皆さんが2年間の臨床研修において、医師としての心、知識、技術の基本を習得し、適切なプライマリケアが出来るようになることを目標としています。また質の高い医療の提供を病院の理念の一つとしており、充実したスタッフによる指導と研修環境の整備に努めています。新しい時代の医療を目指す熱意ある研修医の方々をお待ちしています。

臨床研修の理念

当院の理念、基本方針に基づき、
医師としての人格を涵養し、
一般的診療を目指す臨床医、
特定分野の専門医いずれの場合にも
必要なプライマリケアに対処しうる
基本的知識・技能等を習得すると同時に、
患者やその家族との信頼関係の下に
全人的な医療を行う
能力を身につけた医師を養成します。

臨床研修の基本方針

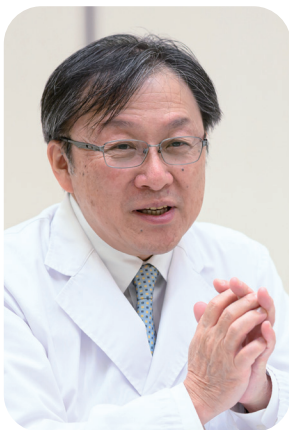
1. 医療安全管理に留意し、患者に満足・納得される医療を行えるようにします。
2. 将来専門とする分野にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する負傷や疾病に、適切に対応できる基本的な診察能力(態度・技能・知識)を習得できるようにします。
3. チーム医療の重要性を認識し、医師を含めた他の医療メンバー、連携医療機関と協調して診療を実践できるようにします。
4. 医療人としての自覚を持ち、継続的にあらゆる医療サービスの質の維持、向上に努める態度を身につけます。

あなたの未来にむけて
当院で
支え合い、高め合う。



2023年、 新救急拠点整備・運営主体に選定

2023年5月、新潟市内における医療再編による新たな救急拠点の整備・運営主体の選定結果が発表され、当院が選定されました。院内の変革を進めるとともに、地域の救急医療体制の変革を導けるよう、職員一丸となり全力で取り組んでいます。研修医になる皆さん、困っている人を助けたいという使命を果たし、地域に貢献できる喜びを一緒に実感しましょう。



院長 本間 照

HONMA Terasu

多くの先輩方が口を揃えて言います、「医師になって5年間で勝負。この間に会得したことが、自分の大きな核になる。あとは情性だな。」その通り、と思います。でも、真っ只中にいる時に、そんなことは分からない、意識することもできません。

唯々、無我夢中のうちに毎日が矢のように過ぎていきます。

皆さんの吸収力は恐ろしいほど素晴らしい。まさに、三日会わざれば刮目してみよ、です。

この5年間に会得するものとは、知識や技術だけではありません。医師としての「在りよう」です。周りにいる沢山の人が、沢山のことを教えてくれるはず。それは、もしかしたら担当する患者さんかもしれません。多分それが一番大切なこと。

当院は、新潟市西部の中核病院として一般医療の最前線で「病氣」と向き合っています。Common diseasesはもとより、当院の専門医師へ依頼される希少疾患まで、豊富で多彩な症例を経験することができます。地域医療支援病院として、医療・保健・福祉、すべての面から、多くのスタッフとともに、患者さん家族と「ともに歩み、支える」を理念として、成長を続けたいと願っております。皆さんも、私たちと一緒に成長して行こうではありませんか。



臨床研修管理委員会委員長 横山 純二

YOKOYAMA Junji

当院は新潟市の西地区にあり、新潟市の救急拠点病院として発展していくことを目指しています。新潟県内ではトップクラスの研修医数を誇

り、同期や先輩研修医に囲まれながら、ゆとりのある研修生活を送ることができます。

当院の臨床研修の特徴としては、救急や総合診療に力点を置いていること、自由選択期間が長いことが挙げられます。救外当直では、1年生は2年生と共に屋根瓦式の研修を行います。さらに指導医が研修医のスキルに応じた適切な指導を行いますので、忙しいながらも充実した学びを担保することができます。また、県外の多くの病院と連携していますので、自由選択期間には、将来の専攻科を見据えた研修を県外の新しい視点から捉えることができることも魅力のひとつです。

研修される先生方には、積極的に学びに参加されることを期待します。時々少し消極的な姿が気になることがあります。例えば、救急搬送された患者さんの初期対応を行った後、専門医に引き継いで、そこでやれやれと終わりにしてしまう方がいますが、すぐもったいないと思います。余裕があれば、救外で専門医がどう

対応し、家族や患者さんにどのように説明しているのか、社会的背景にどのような問題点があり、それを踏まえてどのような診療計画を立てていくのかなど、是非いっしょについて学んで欲しいのです。後日カルテをみて自分の診断が正しかったかどうかの答え合わせだけで終わってしまうのでは、「病氣だけを診て病人を診ず」になってしまいます。

また、担当の入院患者さんに対しては、指導医以上に詳しく知っているくらいの意気込みで接して欲しいと思います。病態の不安定な患者さんのもとには1日何回も顔を出して診察し、話を聞いてみましょう。刻一刻と変化するバイタルサインや患者さんの表情、言動から学べることはたくさんあります。そしてまず自分で考え、文献や書籍を読み、その上で指導医とディスカッションをして欲しいのです。研修医のみなさんにはそれができる時間もパワーもありますし、そして何より、卒業して医師免許を取得した医師であり、医療チームの一員です。みなさんの活気ある行動が、指導医や病院職員全体にも良い影響を与え、病院全体の活性化と、良質な医療の提供につながります。皆さんが当院で研修を終えた後、どこに行かれても、「さすが済生会新潟で学んだ先生だな」といわれるよう、私たちは皆さんを全力で支えています。是非当院で充実した研修を行い、医療人としてのプロフェッショナリズムを育ててください。「病氣を診ずして病人を診よ」です。

研修医の声

フィットする場

自分のスタイルに



楚山 紗月 先生
SOYAMA Satsuki

Q.
A.

済生会新潟病院を選んだ理由は？

志望科の研修がしっかりできそうなこと、新潟市内にある市中病院であること、内科からマイナー科まで幅広く回れること、研修医の人数が多くて楽しそうだったことなど、色々な理由で選びました。

Q.
A.

研修先を決める上で大切なことは？

第一に自分の志望科の研修がしっかりできること、病院のスタッフ、研修医の雰囲気が自分に合っていることなどが大切だと思います。

Q.
A.

済生会新潟病院の雰囲気は？

上級医の先生や他の職種の皆さんの雰囲気が明るく、とても過ごしやすい病院だと思います。

Q.
A.

休日はどのように過ごしていますか？

インドア派なので自宅でゆっくり過ごしながら趣味の時間に充てています。

● 1日のスケジュール

呼吸器内科は先生も多く、しっかりとした指導体制のもと学ぶことができます。病棟業務はもちろん、気管支鏡や胸腔ドレーンの挿入など様々な手技を、実際に自分の手で行うこともできます。

	出 勤
8:30	病棟回診
12:00	休 憩
13:00	気管支鏡検査、 胸腔ドレーン挿入などの処置
16:00	全体カンファレンス
17:00	帰 宅

呼吸器内科



message for student

学生の皆さんへのメッセージ

学生のうちは研修医としてやっていけるのか不安でいっぱいでしたが、今ではとても充実した研修生活を送っています。済生会病院は地域を支える病院で患者さんも多く、救急拠点病院になったこともあり、一般的な症例は十分に経験できます。また仕事に追われすぎずに、自分の勉強をする時間も取れています。当院は同期も多く、休憩中に研修医室で喋ったり、同期で遊びに行ったりと日々楽しく過ごしています。メリハリのある充実した研修を行うことができおり、この病院を選んで良かったと感じます。みなさんぜひ見学にいらしてください。

研修医の声

居心地良い雰囲気

熱い指導と



小笠原 丈彦 先生
OGASAWARA Takehiko

Q. 済生会新潟病院を選んだ理由は？
A. 大学時代にこの病院で実習させていただいた際、指導医の先生から熱心に指導していたことや研修医同士の雰囲気の良さを感じたため、この病院を選択しました。

Q. 研修先を決める上で大切なことは？
A. 研修先の病院に診療科がそろっているかや当直のシステムなどが大切だと思います。当院では多くの診療科がそろっており、当直では研修医がファーストタッチを任せられることが多いです。

Q. 済生会新潟病院の雰囲気は？
A. どの診療科の先生方も大変優しく、そして熱心に指導してくださり、とても良い雰囲気です。研修医同士の仲も良く、明るい雰囲気の中で研修しています。

Q. 休日はどのように過ごしていますか？
A. 研修医の同期とサウナに行ったりスノボをしたりしています。家に居るときはゲームをしていることが多いです。



message for student

学生の皆さんへのメッセージ

済生会新潟病院は多くの診療科がそろい、自由選択の期間も長く、個々の希望に合わせた研修ができます。また、救急拠点病院に指定され、毎日多くの救急車を受け入れています。救急外来では研修医がファーストタッチすることができ、多くのことを経験し学ぶことができます。全体的にアットホームな雰囲気であり、研修医同士の仲もとても良く、働きやすい環境が整っています。ぜひ一度見学に来ていただいて、実際の様子や雰囲気などを感じていただければと思います。

● 1日のスケジュール

救急科では主に救急車の対応を行っています。背景、主訴、症状などが異なる様々な患者さんが来ますが、鑑別疾患を挙げて必要な検査や治療を考えるのはとても勉強になります。また、入院となった患者さんの病棟管理を行うこともあります。

	出 勤
8:00	病棟回診
8:30	救急車対応
12:00	休 憩
13:00	救急車対応
17:00	病棟回診
18:00	帰宅



指導医と研修医のクロストーク

研修医(2023年度入職)

佐藤 史弥先生
SATO Fumiya

呼吸器内科指導医

市川 紘将先生
ICHIKAWA Kousuke

研修医(2022年度入職)

島田 剛先生
SHIMADA Go

対 談



(取材日：2024.2.20)

指導医と研修医に当院の臨床研修についてお話していただきました。

—— 日々の研修について

島田 日々の研修について、市川先生の呼吸器内科では自分で患者さんの検査や治療方針等を考えてオーダーを入れて、それを指導医の先生に確認していただいていた。指導医からのフィードバックを受けながら、経験して体で覚えていくような研修をさせていただきました。

市川医師 指導方法については、各診療科や指導医によって違うと思いますが、私は実際に経験してもらうことを大切にしています。当科はそれぞれの担当患者さんに対して、その主治医と一緒に研修医が診療をする形で指導しています。大きく間違えない限りは、ある程度任せて見守るようなスタイルをとっています。任せられると困ると思うんですが、私は困ることが重要だと思っています。困ることが学ぶ動機になりますから。

佐藤 たしかに、呼吸器内科を回った時が良い意味で一番困った印象があります。困って自分で調べて主体的に取り組めたので、とても勉強になりました。臨床研修2年間の指導医に守られている状況下でこの体験ができたことは、貴重な経験でしたし先生方に感謝しています。

—— 専攻診療科について

市川医師 私が呼吸器内科を専攻した理由ですが、守備範囲が広く、いろんな病態・疾患に対応できる医師になりたいという漠然とした思いがありました。今であれば総合診療科という科がありますが、私が入局した当時の新潟大学に

は総合診療科がなく、内科はいわゆるナンバー内科で「第一内科」「第二内科」「第三内科」に分かれていました。その中の「第二内科」は、腎・膠原病・呼吸器・感染症という非常に広い分野を診ている科だったので、前述の理由から、第二内科に入局することになりました。

当時の私は「人の死＝医療の敗北」と思っていたので、特に多くの人が亡くなる肺癌とは関わりたくないと思っていました。一方、昔から「免疫学」に興味があり、妻が自己免疫疾患を患っていたこともあったので、膠原病内科かなあ…と思いながら、第二内科入局後の1年間を過ごしました。その1年間に、想像を超える多くの患者さんの死に直面し、「人はいつか必ず死ぬ」という当たり前と言え当たり前の真理に直面しました。それまで「人の死＝医療の敗北」と捉え、人の死から逃げていた私の考えは180度変わり、『私が死から逃げていると、私自身も患者さんも苦しくなる。人の死と真正面から向き合う医師になりたい』と思うようになりました。

ということで、呼吸器内科、その中でも肺腫瘍を自身の専門分野とすることに決めました。

島田 私は、来年から腎臓内科に進むことを決めました。予防医学をどう発展させていくかという事に興味があり、腎臓は全体を見る臓器の一つなので、腎臓内科を選びました。

市川医師 予防医学に興味をもったきっかけとかあるんですか？

島田 ここまで悪くなるまで病院に行かなかったのか、と思う人をたくさん見ていたという事がきっ



かけです。健康診断行きたくないって人も、結構いるんですよ。予防医学を発展させれば、救急で具合が悪くなることも少なくなるのではないかと思います。

佐藤 自分は1年目が終わったところなのですが、今は循環器内科か呼吸器内科で考えています。2年目に選択研修の期間もあるので、いろいろな診療科を経験しながら決めたいと思っています。

—— 研修を行う中で印象に残っていること

佐藤 日当直を同じ研修医として在籍する1年上の兄と一緒に入った時の事です。夜中3時にコードブルーで呼び出された時に、着いたら患者さんが心停止だったんです。自分はもうどうしたらいいかわからなかったのですが、兄が冷静に指揮をとっていたのを見て、2年後自分もこうならないといけないと思い、人生で初めて兄を尊敬しました。

市川医師 それは良い経験でしたね。

島田 私は辛い経験になってしまいましたが、1年目に呼吸器内科を研修している時に、原因不明の呼吸不全の患者さんが運ばれてきた時の事

です。様々な検査をしたのですが原因がわからず、自分は助けたいのにどんどん悪くなっていつてしまっ…何かできなかったのかなと思っ
た事が印象に残っています。

市川医師 辛い経験もあるけれど、必ずそれが糧になります。あの時何もできなかったという思いが次の自分を作っていきますし、原動力になると思います。

—— 研修医に心掛けてもらいたいこと

市川医師 医者をやっていく上で一番大事な能力は何か。一つ挙げるとしたら、コミュニケーション能力だと思っています。患者さんだけでなく、コメディカル等、様々な職種とのコミュニケーションが発生しますし、それが上手な人は医療が円滑に回っていくので大事なポイントだと思っています。医者としてだけではなく、社会人として、人間としてちゃんとしているかということも大切です。2年間の臨床研修が終わると全部自分で考えて行動して、全ての責任を取らなくてはならないという危機感を持つことを心がけていただきたいです。

(敬称略)



臨床研修の特色

研修医が多く、仲が良いこと

2026年度の研修医数は、1年次13名、2年次13名(合計26名)の予定です。新潟大学以外の出身者が多いのも特徴で、出身大学に関わらず皆、打ち解けているのが良いところかと思います。臨床実習・見学の学生たちも同じ研修室で過ごしますので、入職前から先輩たちとのつながりができています。

充実した研修プログラム

当院は新潟市の救急拠点病院であり、救急医療に力を入れています。1年生は2年生と共に屋根瓦式の研修を行います。さらに指導医が研修医のスキルに応じた適切な指導を行いますので、忙しいながらも充実した学びを担保することができます。

県外の多くの病院と連携していますので、自由選択期間には、将来の専攻科を見据えた研修を県外の新しい視点からとらえることができることも魅力のひとつです。

ワークライフバランスの実現

「日中は忙しく働き、夜間や休日はしっかり休む」が当院の臨床研修のコンセプトです。研修医には2年間で総合診療の基礎をしっかり学んでいただきます。その上で、夜間や休日は自分自身や家族のために時間を使っていきたいと思っています。

人生の中の重要な2年間で公私ともに充実したものとして、その上で、頼りがいのある専攻医として、羽ばたいてもらいたいと願っています。

済生会新潟病院臨床研修プログラム

●研修スケジュール

point

1年次は基本科目をしっかり抑え、2年次は自由度高く研修。選択科目も32週と充実しており、下記県内外の協力病院での研修も可能です。

1年目		2年目	
2週間	オリエンテーション	4週	地域医療
6週	消化器内科	4週	救急科
6週	循環器内科	4週	精神科
6週	呼吸器内科	4週	小児科
6週	血液内科	6週	外科
6週	代謝内分泌内科+腎・膠原病内科	32週	自由選択
4週	産婦人科		
4週	救急(麻酔科)		
4週	救急科		
6週	整形外科		

●済生会新潟病院 協力病院・施設一覧

県内外の病院や全国の済生会病院と連携して研修を行っています。

必修分野

- ・松浜病院（精神科）
- ・新潟県立津川病院（地域医療）
- ・済生会三条病院（地域医療）
- ・あがの市民病院（地域医療）
- ・山北徳新会病院（地域医療）

自由選択分野

- ・新潟大学医歯学総合病院
- ・信楽園病院
- ・済生会新潟県央基幹病院
- ・済生会福岡総合病院
- ・済生会宇都宮病院
- ・岡山済生会総合病院
- ・旭川医科大学病院
- ・済生会熊本病院
- ・済生会横浜市東部病院
- ・済生会加須病院
- ・水戸済生会総合病院
- ・新潟県庁

●済生会臨床研修医のための合同セミナーについて

全国の済生会病院で研修を行う1年目研修医が一堂に会し、研修についてのプレゼンやグループワークを行います。済生会の規模を実感するとともに済生会で臨床研修を受ける自覚を醸成し、研修医本人にとって臨床研修が充実したものになることを期待しています。



県外たすきがけプログラム

point

2年間で異なる地域の救急医療や地域医療が経験できるハイブリット型臨床研修プログラムです。2年間を通じて、様々な症例を経験し、幅広い視野と各診療分野における基本的な診療能力を習得します。

アライアンスプログラム

A



高度・急性期医療センター
公立昭和病院
SHOWA GENERAL HOSPITAL



社会福祉法人 済生会支部 新潟県済生会
済生会新潟病院

1年目(公立昭和病院)

2週間	オリエンテーション
34週	内科(循環器内科、呼吸器・膠原病内科、消化器内科、脳神経内科・内分泌・糖尿病・代謝、血液・腎臓)
4週	産婦人科
4週	小児科
8週	救急科

2年目(済生会新潟)

4週	外科
4週	整形外科
4週	救急(麻酔科)
4週	救急科
4週	精神科
4週	地域医療
28週	選択科目

アライアンスプログラム

B



医療法人 徳洲会
宇治徳洲会病院
UJI-TOKUSHUKAI MEDICAL CENTER



社会福祉法人 済生会支部 新潟県済生会
済生会新潟病院

1年目(宇治徳洲会病院)

2週間	オリエンテーション
12週	救急総合診療科
4週	内科系選択
8週	総合内科
6週	心臓血管内科
12週	救急科
4週	内科系選択
4週	外科

2年目(済生会新潟)

4週	整形外科
4週	救急(麻酔科)
4週	産婦人科
4週	小児科
4週	精神科
4週	地域医療
28週	選択科目

アライアンスプログラム

C



医療法人 徳洲会
湘南鎌倉総合病院
SHONAN KAMAKURA GENERAL HOSPITAL



社会福祉法人 済生会支部 新潟県済生会
済生会新潟病院

1年目(湘南鎌倉総合病院)

24週	内科(総合)
12週	外科
8週	救急(麻酔科含む)
4週	小児科
4週	産婦人科

2年目(済生会新潟)

4週	救急科
4週	精神科
4週	地域医療
4週	整形外科
36週	選択科目

交通アクセス・研修環境

市内には国際空港でもある新潟空港があり、上越新幹線、北陸自動車道や関越自動車道で関東・関西圏ともつながっています。学会などで国内各地へ向かう場合にも空港、陸路ともアクセスは良好です。



交通のご案内

新潟駅からバス

- 学校町～信濃町～西部営業所行に乗車→
- 水島町～県庁前～西部営業所行に乗車→
済生会新潟病院で下車

電車とタクシー

- JR 新潟駅万代口よりタクシーで約 20 分
- JR 小針駅よりタクシーで約 5 分

自家用車

- 新潟バイパス新潟黒埼 IC より約 5 分

研修環境

研修医室	個人用デスク・個人用メールボックス・ wi-fi 完備 共用パソコン・複合プリンター・ 電子カルテ端末・ アメニティ (冷蔵庫・電子レンジ)・談話スペース
研修シミュレーター	超音波・縫合セット・各種シミュレーターあり
利用できる 電子コンテンツ	「医中誌 web 版」「今日の診療 (イントラネット版)」 「cochrane Library」「メディカルオンライン」
仮眠室	研修医専用あり